

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）	
基本施策ID	基本施策名
3 - 1 - 2	快適な生活空間に必要な施設環境を整える
重点施策ID	重点施策名
3 - 1 - 2 - 3	適切な生活排水処理施策の展開

2. 事業名等			
事業名	生活排水処理事業	事業区分	② ①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名	農業集落排水事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市	①	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務	④	④その他 ()
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度	根拠法規	浄化槽法、豊後大野市農業集落排水施設条例
各種の計画への反映 (=根拠計画)		生活排水処理基本計画	事業ID

3. 事業の内容等			
事業の背景 農業振興地域における生活排水を処理するため、全国的に農業集落排水施設が整備されているが、市内では三重町、清川町及び緒方町において7箇所に施設が整備されている。現在は、集合処理施設を維持管理しながら適切な排水処理業務の運営に努めている。	補助事業	名称	農業集落排水整備推進交付金
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/
	起債の種類	①	資本費平準化債
	②		
	③		

【目的】 公共用水域の水質を保全するとともに公衆衛生の向上を図るため、加入世帯（人口3,174人）の生活排水を適切に処理する。	事業概要 (平成20年度実績) 維持管理委託 29,967千円、使用料徴収 60,549千円、公共樹設置 13,589千円 起債償還 74,386千円 ※ 農業集落排水整備推進交付金は事業推進に対する県交付金で、事業費の1/10を10年間分割交付されるもの。
【対象】 三重町上田原・清川町砂田・緒方町（馬場、中央、原尻、知田、井上）	前年度の評価 E 維持
	評価結果に基づき見直した内容

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金	168,550						
	県支出金	1,401	1,401	1,401	1,401	1,051	1,051	1,051
	地方債	173,000	16,400	28,500	36,100	52,700	65,500	71,000
	その他	12,168	5,707	4,234	95,463	84,923	84,923	84,923
	一般財源	158,456	138,354	156,303	82,907	68,524	68,524	68,524
	計	513,575	161,862	190,438	215,871	207,198	219,998	225,498
決算	国庫支出金	166,370						
	県支出金	1,401	1,401	1,401	1,401			
	地方債	171,000	16,400	27,500	36,100			
	その他	12,166	5,721	13,146	93,951			
	一般財源	158,420	134,199	145,155	82,907			
	計	509,357	157,721	187,202	214,359			

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】 処理人口 2,984人	【実績】 処理人口 3,151人	【実績】 処理人口 3,174人	加入促進を強化する必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値									
活動指標	農業集落排水への加入者数								
効率指標	-								
成果指標	処理人口								単位 人
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考		
種別	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	目標値は処理区域内人口とし、実績値は処理人口。		
目標値			3,643	3,643					
実績値	2,405	2,984	3,151	3,174					
達成率			86.5%	87.1%					
備考									

総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	世界的にも環境問題が重要視されている中、本事業の実施によって汚水を集合処理し、公共用水域の水質を保全するとともに公衆衛生の向上を図る必要がある。				
行政の 与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	5	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	農業集落排水事業は、国庫補助制度の中で事業主体は都道府県・市町村等となっており、民間で担うことのできる農業集落排水施設の維持管理については、民間委託により実施している。				
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	農業集落排水施設の維持管理に係る業務については、専門的な技術や資格を有する者が必要であり、事業の効率性を向上させるため民間委託により実施している。				
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	5	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	農業集落排水の加入者は、昨年比べて0.6%増加し、本事業の対象区域内における汚水処理率は87%となっており、おおむね事業の目的は達成しているものと考えられる。				
事業の 算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	4	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	農業集落排水事業に係る予算は、施設の維持管理と起債の償還に係る経費が大半を占めており、特に今後は起債償還額がピークを迎えることになる。事業の執行に当たっては経費の節減に努めているが、施設を適切に管理していくためには一定の予算が必要であり、予算の減額には困難な部分がある。				
人 体 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	農業集落排水事業を含め、公共下水道事業・合併処理浄化槽整備事業を兼務で実施しており、また本年度、浄化槽に関する事務が県から権限委譲されており、市として排水処理対策を適切に遂行していくためには、現状の人員体制は必要になる。 なお、支所との業務分担のあり方については、今後も検討していくこととする。				
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	公共用水域の水質を保全するとともに公衆衛生の向上を図るためには、今後も継続して施設の適切な維持管理に努める必要がある。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
農業集落排水施設、公共下水道及び浄化槽は、それぞれ事業は異なるものの、生活排水を処理するという同じ目的の施設であり、市が提供する同一のサービスについては、使用者の負担の公平性を確保するため同じ料金であることが望ましいことから、受益者負担のあり方を勘案しながら、使用料の統一を検討していくこととしている。					
部 長	課 長	班 長	担 当 者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp	